

2. 飛騨圏域の医療体制への影響

- 5月以降はコロナ患者が急増し、一時はコロナ患者用の**空き病床が残りわずか**になるまで、ひっ迫した状況となった時期がありました。
- 5月18日には、宿泊療養施設(高山観光ホテル)が開設され、年齢などの一定の条件を満たす、軽症や無症状の患者さんを受け入れています。
- 5月以降に飛騨圏域一部の医療機関では、新規紹介患者や救急搬送の受け入れを制限するなど、**既に一般診療に影響**が出ています。



3. どうやって医療機関の負担を減らすか?



- 医療機関の負担を減らすためには、**何より新規感染者を減らす**ことです。
- 飛騨地域における新規感染者数を、2週間「0(ゼロ)」にすることができれば、**退院・退所される方がある程度見込まれ**、さらにこれ以上重症・中等症の入院患者さんの増加が少なくなれば、**医療機関への負担も大きく下がります**。

4. 住民の皆さまへ

①変異株でも同じ対策で感染防止が可能です。

- 『基本的な感染防止対策』(マスク、手指衛生、**人との距離確保**、**三密のうち一つでも回避**、**体調不良時はすべての行動ストップ**)の徹底継続。
- 不要不急の外出・移動の自粛。県をまたぐ不要不急の移動も控える。
- 飲食は、自宅を含めて、大人数を避けて短時間で。深酒をせず、大声を出さず、会話時はマスクを着用。家族内であっても互いに気を付ける。



②体調不良時は、以下の「医療機関へ受診される際の留意点」をご確認いただき、適正な受診を。

- 風邪症状に限らず体調不良の方は、**通勤・通学など行動をストップ**し、必ず**事前に電話連絡**のうえ早めに受診する。
- 受診の際には予約をする(初診・再診・定期ともに)
- 行動履歴等、医師の診断に必要な情報は、受診時に正確に伝える。



5. ワクチン予防接種にご協力を



新型コロナウイルスワクチンは、**高い発症予防効果**が確認されています。ワクチン接種は感染拡大阻止への有効な手段です。ワクチン接種を希望される方は、接種をお願いします。ただし、ワクチンを接種した後も決して油断せず、基本的な感染対策の徹底の継続をお願いします。



問い合わせ先

- 高山市役所 TEL.0577-32-3333 (代表)
- 飛騨市役所 TEL.0577-73-2111 (代表)
- 下呂市役所 TEL.0576-24-2222 (代表)
- 白川村役場 TEL.05769-6-1311 (代表)